

商学部 経営学科 専門教育分野 TLO:Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別	単位	主 要 科 目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
				講義 演習 実習 PBL など					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
専 門 学 科 内 容 科 目	経営学概論	M-MNG102	100	講義	4	○	経営学とは何かを知り、経営学の基礎知識を習得することで企業経営についての理解を深めるための学修を行う。	経営学及び企業経営についての基礎知識の習得し、自分の意見を述べることができる。	◎		○		◎	○
	会計学概論	M-ACC104	100	講義	4	○	会計学を学ぶために、会計学の全体像を捉え、必要な基礎知識を幅広く得るための学修を行う。	会計情報が社会においてどのように役に立つのか、大きな見地から理解できる。	◎		○		◎	○
	情報社会と情報倫理	M-INF104	100	講義	2	○	高度情報社会とはどのような社会であるのか、その中で生じる情報倫理問題について学修する。	情報セキュリティや情報倫理に関する問題に正しい認識をした上でICTを健全に使いこなせる。	◎	◎			○	○
	機械学習	M-INF213	200	講義	4	○	機械学習手法の習得を目的に、代表的な手法を理解し、データを使った分析ができるようになることを狙いとする。	・クラスタリング、主成分分析などの代表的な機械学習手法について説明ができる。 ・統計解析ソフトを利用してデータ分析し報告書作成ができる。		◎	◎		○	○
	情報処理論	M-INF105	100	講義	2	○	コンピュータをブラックボックスとするのではなく、中身の仕組みや動作原理について学修する。	ICTの健全なる利用者(原理や仕組みを理解した上で、ICTを操作する者)になれる。	○	◎	◎	○		
演 習 ・ 卒 業 論 文	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	○	主体的、能動的に研究・調査等を行うための基礎を修得する。	研究・調査の楽しさを体験し、調査・研究を主体的に企画できるようになる。			○	◎	○	◎
	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	○	個人研究または共同研究として、主体的、自律的に研究・調査等を実践する。	主体的に調査・研究を企画、実践し、その成果を報告できるようになる。			○	◎	○	◎
	卒業研究	M-SEM401	400		2	○	専門演習における学修・研究・調査等の成果(研究成果)を、論文・報告書等の形で作成する。	科学的・学術的な形式を備えた論文や報告書を執筆・作成できるようになる。			◎		◎	○
マ ー ケ テ ィ ン グ 分 野	商学概論	M-CME102	100	講義	4	○	流通やマーケティングを勉強するための基礎科目として、商業の基礎を学修しその全体像を把握するための学修を行う。	商業の仕組みが分かるようになり、これから始まる専門科目への学修意欲が一層高まる。	◎	○	○		◎	
	マーケティング論	M-CME209	200	講義	4		マーケティングに関する基礎的な知識を習得し、実務におけるさまざまなマーケティング課題に対する洞察力を養うための学修を行う。	新聞や雑誌で取り上げられるマーケティングに関する記事を読んで理解できる。		◎	○	○	◎	
	流通論	M-CME210	200	講義	4		流通についての基礎的な知識を学び、流通の仕組みや社会的な役割を理解して、実務の現場での対応能力を高める学修をする。	日々利用している流通業に対して興味や関心が持てるようになり、流通の変化と動向を理解することができる。	○	◎	◎		○	
経 営 学 科 専 門 教 育 分 野	経営史	M-MNG101	100	講義	4	○	歴史的な事象を通じて、マネジメント(経営)の起源、環境変化、発展を具体的に理解する。	ビジネスや経済環境についての時事的な出来事も、歴史的な視点からコメント、評価できる。	◎		○		◎	○
	国際ビジネス論	M-MNG203	200	講義	4	○	この授業では、国境を越えて移動するモノ(財)、サービス、資本を研究対象とする。激動している現代世界の動きに注目し、グローバル経済の動向を規定している要因を分析する。それと同時にそのなかで企業の活動や経営を世界的な視野にたって研究する。	激変する国際環境下における企業経営態様やその変化を、具体的な事例を交えながら、理論と現状の両面にわたって考える。	◎	○	○		◎	
	経営管理論	M-MNG207	200	講義	4	○	経営管理の思想的側面と各理論が導き出された社会経済状況を知り、経営実践に必要な管理課題に対する問題解決能力を養う。	経営管理の理論発展に関わる時代背景、時代精神と共に、主要な論点と概念を理解し説明できる。	◎	○	○		◎	
	経営戦略論	M-MNG208	200	講義	4	○	「経営環境の分析」や「事業戦略の構築」の二部によって構成される。経営戦略の基本概念から始め、経営戦略を行うための様々な基本理論や知識を習得すること。	企業を取り巻く環境の変化を理解し、経営戦略の基本理論や戦略策定ツール(フレームワーク)を習得する。	◎	◎	○	○		
	制度と組織の経済学	M-MNG209	200	講義	4	○	経済システムにおけるルール、企業におけるマネジメントの分析的概念について理解する。	制度的な思考が身につく。法律や行政、戦略や人材育成などの時事的な事象を分析できる。	◎	○	○		◎	
	中小企業論	M-MNG210	200	講義	4		中小企業の実態を理解し、中小企業を取巻く経済・社会環境などの課題に対して経営者がどのように解決策を立案すべきか、考え方を理解する。	中小企業の産業別の動向や経営分野別の課題を理解し、自分のことばで説明できる。	◎	○	◎		○	
	現代企業論	M-MNG211	200	講義	4	○	現代企業の骨格を形成する企業制度の理論的変遷と実態を理解する。	企業、特に株式会社の理論的・制度的な構造、意義とその実態を理解する。	◎	○	○		◎	
	人的資源管理論	M-MNG212	200	講義	4	○	組織の目標を達成するために、効果があり費用の少ない人的資源のマネジメントの方策を探る。	人的資源の企業の中での位置付けや役割を理解し、その適切な管理法を自ら探ることができる。	◎	○	○		◎	
	企業実践研究	M-MNG213	200	講義 (実習付)	2	○	企業の実例を素材とした、ケース・メソッドを用い、実例を分析することで企業研究の方法を学んでいく。	ディスカッションを通じてコミュニケーション能力や意思伝達能力等を目標とする。			◎	◎	○	○

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
							授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を追いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				講義 演習 実習 PBL など					ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に着けている。	経営管理に必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に付けている。	主に経営管理に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、ビジネス上の問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができることと、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	経営を起点として、社会に対する関心と志を高め、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
分野	戦略的マネジメント・コントロール	M-MNG214	200	講義	4		企業や組織の目標達成に向けた戦略実行と具体的な管理手法を学び、経営環境の変化に柔軟に対応するための戦略的思考力を養うことを目的とする。	戦略の策定から実行および管理までの具体的なプロセスを理解し、問題解決や意思決定に役立つ実践的なマネジメント能力の基礎を身に付ける。	○	○	◎	◎		
	経営分析	M-MNG325	300	講義 (実習付)	4		会計情報を用いて企業を格付けする手法を学ぶ。	受講者自身が自主的に企業分析を行うことができるようになる技術を習得する。		◎	◎	○	○	
	経営組織論	M-MNG308	300	講義	4	○	経営学の体系に沿って管理組織に関する基本的な理論を学び、経営実践に必要な組織課題に対する問題解決能力を養う。	経営目的を達成するために管理と組織が一体となって発展してきたことが理解できるようになり、経営実践にも役立てられる。		◎	◎		○	○
	生産管理論	M-MNG312	300	講義	4	○	生産管理の概要と生産計画、工程管理を中心に日本のものづくりの仕組みについて理解する。品質管理の仕組み、資材調達や外注管理、商品開発の仕組みについて理解する。	ものを作るとはどのようなことか、そしてどのような情報が必要なのかを理解し、自分のことが説明できる。	◎	◎	○		○	
	異文化リーダーシップ論	M-MNG301	300	講義	4		マネジメントに関係する文化次元と共に、文化と関係するリーダーシップ理論を学ぶ。	経営活動の文化差理解と共に、ビジネス・リーダーシップの主要な論点と概念を理解し説明できる。		◎	◎		○	○
	多国籍企業論	M-MNG315	300	講義	4	○	持続可能な成長と現在のグローバル社会の趨勢を踏まえ、多国籍企業における社会的責任、戦略展開を中心に学修を進めていく。	基本的な理論、概念を習得し、自分のことが説明できる。時々刻々と変化するグローバル経済社会情勢と多国籍企業活動との関連を理解できる。		◎	◎		○	○
	起業論	M-MNG305	300	講義	4		起業家やベンチャー企業に関わる具体的な事例紹介などを通じて、起業を取り巻く現状について理解を深める。また、実際のビジネスプランづくりにチャレンジすることで事業展開における論理的な考え方をまとめあげる力を身に付ける。	社会経済環境の変化・動向を着実に捉えつつ、これに呼応した柔軟かつ機動的なビジネスアイデアの発想とそのとりまめができる能力の獲得と向上を目指すことで、将来の実社会でのビジネスにつながる。	◎		○		○	◎
	企業評価論	M-MNG304	300	講義	4	○	企業評価の目的、方法、意味内容を理解し、実際への応用能力を修得する。	企業の実力を客観的に評価する能力を身に付け、その強み・弱みを理解する。		◎	◎		○	○
	スポーツ組織論	M-HES400	400	講義	2		国内外のスポーツ組織の将来性・現況、情報等を理解し、スポーツ組織をどのようにマネジメントすべきかを考える。	スポーツ組織の運営や活動促進のために、必要とされる人材、期待される役割がどのようなものかを考察し、実践する能力を身につける。		◎	◎		○	○
ファイナンス分野	地域金融講座(飯能信用金庫寄附講座)	M-ECN111	100	講義	2		私たちの生活と金融とがどのような関わりを持っているのかを、身近な地方金融機関の実務者から学ぶ。	実際の業務を踏まえた地域金融機関の使命と役割への理解を深めることを目標とする。	◎		◎		○	○
	ファイナンス概論	M-ECN109	100	講義	4	○	経済における金融の役割、経済の発展と金融がいかに関わるか、について基本的考えを学ぶ。	決済制度、投資と資本蓄積、マクロ経済と金融の関わり、金融市場の役割について理解を深める。		◎	◎		○	○
	ファイナンス	M-ECN231	200	講義	4	○	ファイナンスについて学ぶ。	ファイナンスに関する理解を深める。	◎	○	○		◎	
	金融システム	M-ECN234	200	講義	4	○	金融システムとして中央銀行を中心とした金融制度について基礎事項を学ぶ。	通貨決済制度、インフレーション、マクロ安定化政策としての金融政策を理解する。	◎	○	○		◎	
	国際金融	M-ECN235	200	講義	4	○	国と国との間の金融取引を国際金融であり、国際金融ならではの概念や言葉の定義について学ぶ。	国際収支や為替レート、金融と関係のある範囲で実物取引についても理解する。	◎	○	○		◎	
	ファイナンシャルマーケット論	M-ECN330	300	講義	4	○	現代の経済には不可欠であるファイナンシャル・マーケット(金融市場)について理解を深めるための学修を行う。	企業と金融市場の関わり、金融取引におけるリスク、金融仲介、証券金流通市場について理解する。		◎	◎		○	○
経済分野	ミクロ・マクロ経済学	M-ECN105	100	講義	4	○	標準的な入門レベルの経済学としてミクロ経済学とマクロ経済学をコンパクトに解説。そして、経済統計といったビジネスでの活用に関連する基礎的な内容を理解する。	初級レベルの経済学を修得し、より上級レベルの学習やビジネスにつなげる。	◎	○	○		◎	
	国際経済学	M-ECN210	200	講義	4		現代の複雑な国際経済の構造について理解し、国際経済に関する重要記事を適切に理解することを目指す。	国際貿易論、国際金融論の基本的な内容を理解し、国際経済問題について貿易、国際金融の両面から、理論的ツールを用いて考察できる。	◎	○	○		◎	
	財政学	M-ECN211	200	講義	4		税制改革や財政赤字削減のような、重要な財政問題について、現状や歴史、より根本的・体系的な側面、解決策を学ぶ。	税制改革や財政赤字削減などについて、現状や歴史、経済学的な視点、解決策について、説明や判断ができるようになる。	◎	○	○		◎	
	日本経済論	M-ECN326	300	講義	4		経済理論をどのように経済データあるいは判例と結びつけて考えるかを学ぶ。	現実の経済について理論的かつ合理的な説明ができるような能力を身につける。		◎	◎		○	○
	社会経済システム論	M-ECN232	200	講義	4	○	社会経済システム論の基礎知識を学んだのち、進化論的な理論構成の可能性について検討する。	さまざまな社会現象・経済現象をシステム論的な観点から理解できるようになる。	◎	○	◎		○	
	福祉の経済学	M-ECN334	300	講義	4		経済学の視点から、福祉とは何か、所得格差と貧困、年金・医療等の社会保障、労働・雇用と生活水準、人間の安全保障などのテーマを学ぶ。	人間の経済活動と労働・所得・生活水準等の問題について主体的に学修し意見を述べることができ、他者と議論を行い、建設的な提言を行える。		◎	◎		○	○
	都市経済論	M-ECN233	200	講義	4	○	都市内の土地利用を取り巻く外部性(混雑、公害など)の内部化(解決)手法に関して理解を深める。	都市環境の改善のために何をすれば実現可能な対策になりうるかを考えられる。	◎	○	○		◎	

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
							授業科目で何を目的に学び、どのような内容の理解を追いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				講義 演習 実習 PBL など					ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に着けている。	経営管理に必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に着けている。	主に経営管理に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、ビジネス上の問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け入れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	経営を起点として、社会に対する関心と志を高め、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
	地域経済社会事情(中東)	M-ARS220	200	講義	4	○	中東を手掛かりに現代世界に大きな影響を与える社会・経済の動きとその背景を捉え、地域経済の特性と可能性を多角的に理解する。	中東地域に関する知識を習得し、異文化世界との共生力と多様性を活かすような社会・経済のあり方を考えられるようになる。	◎	◎	○		○	
	地域経済社会事情(人の移動と地域)	M-ARS221	200	講義	4	○	人の移動を軸に、現代世界の都市化や地域の再編を理解し、地域をつくる多様な社会経済的仕組みとその課題・可能性を学修する。	人びとの生活の場から地域を理解し、地域に起こる諸問題・現象から社会経済的課題と可能性を理解し、説明できる。	◎	◎	○		○	
	地域経済社会事情(東アジア)	M-ARS222	200	講義	4	○	韓国社会が直面している諸課題について、ミクロ及びマクロ経済学の観点から理解する。	身近な経済トピックを中心に、韓国の経済問題を理解し、日韓経済関係の在り方について意見を述べる。	◎	◎	○		○	
法律 分野	民法	M-LAW203	200	講義	4		民法について学ぶ。	民法に関する理解を深める。	◎	○	○		◎	
	会社法	M-LAW301	300	講義	4		会社法について学ぶ。	会社法に関する理解を深める。		◎	◎		○	○
	商取引法	M-LAW306	300	講義	4		商取引法について学ぶ。	商取引法に関する理解を深める。		◎	◎		○	○
会計 分野	簿記	M-ACC101	100	講義	4	○	簿記や会計学を学んだことがない初学者を対象に、簿記・会計の基礎を学修することを目的とする。	基礎的な用語・計算の理解、日商簿記3級レベルの学修内容の理解ができる。	◎		○		◎	○
	デジタルビジネスとアカウンティング	M-ACC103	100	講義	4	○	標準的な入門レベルの会計学を、コンパクトに解説するアカウンティング概論。そして、デジタルビジネスや会計・ビッグデータといったビジネスでの活用に関連する基礎的な内容を理解する。	初級レベルの標準的な会計学を修得し、より上級レベルの学習やその他の分析ツールの活用、及びビジネスにつなげる。	◎	○	◎		○	
	簿記演習	M-ACC102	100	講義 (実習付)	2		初級レベルの商業簿記について、理解を深めるため、計算演習をおこなう。	日本商工会議所簿記検定試験3級程度の問題を独力で解ける。	◎		○		◎	○
	応用簿記	M-ACC206	200	講義	4	○	簿記の基礎を理解していることを前提に、より複雑な会計処理について学修する。	日商簿記2級レベルの商業簿記の学修内容を理解し、高度な内容の会計処理ができる。	◎	○	○		◎	
	工業簿記	M-ACC202	200	講義	4	○	簿記検定2級の工業簿記の試験範囲を網羅するとともに、実践的な工業簿記のあり方について学修する。	中級レベルの簿記検定の工業簿記に合格できる程度の知識を身に付ける。	◎	○	○		◎	
	応用簿記演習	M-ACC207	200	講義 (実習付)	2		中級レベルの商業簿記について、理解を深めるため、計算演習をおこなう。	日本商工会議所簿記検定試験2級程度の問題を独力で解ける。	◎	○	○		◎	
	工業簿記演習	M-ACC203	200	講義 (実習付)	2		中級レベルの工業簿記について、理解を深めるため、計算演習をおこなう。	日本商工会議所簿記検定試験2級程度の問題を独力で解ける。	◎	○	○		◎	
	財務会計論	M-ACC305	300	講義	4	○	会計の基礎的な知識を発展させ、わが国の財務会計に関する知識を広げ、深める。	財務会計全般を広く理解し、大学で会計学を学修した標準レベル以上に達する。		◎	◎		○	○
	財務分析論	M-ACC306	300	講義	4	○	会社の成績を表示している貸借対照表や損益計算書等の財務諸表の分析ができる簿記会計を学修する。	財務諸表を読む能力をためすビジネス会計検定試験の3級程度の知識を身に付ける。		◎	◎		○	○
	国際会計論	M-ACC304	300	講義	4		英文の財務諸表を意識し、最新の国際的な会計とわが国の会計を比較し、理解する礎を築くこと。	統合化を目指す世界の会計を理解し、考え方を身につけて英文で財務諸表を読むための基礎を築く。		◎	◎		○	○
	原価計算論	M-ACC303	300	講義	4	○	原価計算は、原価数値を用いて、経営(経営者や管理者)に役立てるためのシステムであることを学ぶ。	学修のレベルは日商2級から1級の基礎程度の理解ができる。		◎	◎		○	○
	会計監査論	M-ACC301	300	講義	4	○	公認会計士の独占業務である会計監査につき、業務の必要性、仕事の内容などにつき学修する。	会計に限らず、会社の不正事件が今日多発化するなかで、不正防止のあるべき倫理観を体得できる。		◎	◎		○	○
	税務会計論	M-ACC308	300	講義	4	○	おもに日常生活に必要な法人税、所得税、相続・贈与税、消費税の基礎を学修することを目的とする。	銀行の初級行員を対象にした銀行業務検定試験の4級程度の知識を身につける。		◎	◎		○	○
	管理会計論	M-ACC302	300	講義	4	○	管理会計の概要を明らかにするとともに、具体的な管理会計手法を取り上げて、管理会計の理解を深める。	代表的な管理会計手法の利用方法およびその効果における概要を説明できる。		◎	◎		○	○
	ICT会計実務	M-ACC309	300	講義 (実習付)	2	○	パソコンの会計ソフトを利用した経理を体験し、学修した簿記と実際のギャップを埋める。	ソフトを使用した会計を体験し、大学で学修する簿記や会計理論が役立つと実感できるレベルに達する。		◎	◎	○	○	
	情報学基礎	M-INF102	100	講義	2	○	コンピュータを制御するソフトウェアの動作について学び、動作を記述するプログラムについて理解する。	ソフトウェアの構成について説明ができること、プログラムを記述し、コンピュータの基礎的な制御ができる。	◎		◎		○	○
	プログラミング	M-INF103	100	講義	4	○	データサイエンスの基礎課題を解決するための分析力と、その分析を実践するソフトウェアの開発スキルの獲得する。	機械学習の代表的手法の特徴を説明できること、Pythonによるプログラミングによる分析ができる。	◎	○	◎			○
	ビッグデータマネジメント	M-INF214	200	講義	4	○	データサイエンスの実践に求められるデータの生成、管理、前処理を行うために必要となるデータベース、ウェブ、ネットワークサービスについて知識と、開発スキルを獲得する。	インターネットを利用したデータ収集と、データベース(MySQL)を用いたビッグデータの管理、データ前処理について設計、基本的なプログラム化ができる。		◎	◎		○	○

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
							授業科目で何を目的に学習し、どのような内容の理解を追いとするか。	授業での教育・学習を通じて学生がどのような学習成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				講義 演習 実習 PBL など					ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に着けている。	経営管理に必要なとされるICTを含む多様な専門知識を身に着けている。	主に経営管理に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、ビジネス上の問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	経営を起点として、社会に対する関心と志を高め、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
情報分野	データサイエンスプログラミング	M-INF216	200	講義	4	○	データの収集からデータサイエンス手法による可視化、課題解決までを統合して実践的課題解決の工程を学び、課題の分析と、開発スキルを獲得する。	これまでの科目と統合して、実践的なデータサイエンスの課題を各プロセスの設計、プログラム化によって課題を分析できる。		◎	◎		○	○
	ビジネス・アナリティクス	M-INF215	200	講義	4	○	ビジネスアナリティクスで使用する分析手法の習得を目的に、回帰分析、時系列分析を理解し、データを使った分析ができるようになることを狙いとする。	・回帰分析、時系列分析について説明ができる。 ・統計解析ソフトを利用してデータ分析し報告書作成ができる。		◎	◎		○	○
	ソーシャルメディア論	M-INF205	200	講義	4	○	IT社会を生きる市民に必要なメディアの進展への能動的態度を育み、ソーシャルメディアに関する知見を広めることを目指す。	ソーシャルメディアの種類、コミュニケーションモデル、メディア史、認知心理、AISAS等の知識を理解する。	◎	○		◎	○	
	データベース論	M-INF206	200	講義 (実習付)	4	○	ビッグデータ時代のビジネスマンやデータサイエンティストに必須のDBとデータ分析の基礎的知識技能の習得を目指す。	DBの概要、量的・質的データ分析(統計、テキストマイニング、GTA等)等の基礎的知識技能を獲得できる。	○	◎	◎		○	
	経営科学	M-INF202	200	講義 (実習付)	4		経営科学の実践的理論(統計分析、数理計画法、シミュレーションなど)を考察するとともに、Excel実習を通じて経営情報の処理方法を習得する。	経営科学の実践的理論および手法を理解し利用できるようにする。	○	◎	◎		○	
	プログラミング基礎	M-INF207	200	講義 (実習付)	4	○	問題解決方法やアルゴリズムについて、机上ではなく、プログラミング言語を用いて実体験する。	アルゴリズムとはどういうものなのかを中心に、コンピュータを用いた問題解決技法を習得する。	○	◎	◎	○		
	ウェブアプリ論	M-INF319	300	講義 (実習付)	4	○	インターネットとスマホ全盛時代のビジネスパーソンに必須のウェブやウェブアプリに関連する知識技能の習得を目指す。	ウェブの概要、コンテンツ制作、サーバー利用、アプリ制作(プログラミング)の基礎的知識技能を獲得する。	○	◎	◎	○		
	企業情報システム論	M-INF301	300	講義	2		企業の仕事を効率的に行うために、情報システムがどのような機能を備え、役に立つか理解する。	情報システムが企業で利用されている実際の姿を知る、あわせて情報にかかると倫理観を身に付ける。		◎	◎		○	○
	ビジネスゲーム	M-INF302	300	講義 (実習付)	2	○	企業経営への理解を深め、データの分析能力を高めつつ、自分たちのアイデアや発想を生かす学びをする。	ビジネス・ゲーム(グループワーク)により企業の意思決定プロセス、結果の分析方法を理解する。	○	○	◎	◎		
	Rプログラミング	M-INF316	300	講義	2	○	統計解析に必要なプログラミング技法を習得することを目的に、データ処理方法や解析パッケージ利用方法を理解し、プログラム実装できるようになることを狙いとする。	・Rを使った統計解析、グラフ作成ができる。 ・関数を自作し、一連のデータ処理、統計解析処理を自動化することができる。		◎	◎		○	○
	ウェブマイニング	M-INF317	300	講義	2	○	我々が日常で利用する自然言語をビッグデータとして取り扱うための処理プロセスの知識と、データサイエンス手法を適用する開発スキルを獲得する。	自然言語をビッグデータ化する知識とプログラム化ができる。これらを利用してクラウドサイエンス手法を適用して分析できる。		◎	◎	○	○	
	表計算プログラミング	M-INF303	300	講義 (実習付)	4	○	コンピュータプログラムの変数、条件分岐、繰り返しといった基本概念を応用できるよう学習する。	表計算ソフトのマクロ機能を使って小規模なプログラムの設計と実装ができる。	○	◎	◎		○	
	問題解決技法	M-INF304	300	講義 (実習付)	4	○	ORの各技法の理解を通じて論理的な考え方や科学的な手法による数量的な意思決定を学ぶ	日程計画、線形計画法、回帰分析、待ち行列、シミュレーションといったORの代表的手法を理解する。	○	◎	◎	○		
ディ	マーケティング・アナリティクス(MAP)実践Ⅰ	M-DSC301	300	講義 演習	4		マーケティング分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	マーケティング分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	MAPプロジェクトⅠ	M-DSC302	300	演習	4		マーケティング分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	マーケティング分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	マーケティング・アナリティクス(MAP)実践Ⅱ	M-DSC303	300	講義 演習	4		マーケティング分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	マーケティング分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	MAPプロジェクトⅡ	M-DSC304	300	演習	4		マーケティング分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	マーケティング分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	ファイナンス・アナリティクス(FAP)実践Ⅰ	M-DSC305	300	講義 演習	4		ファイナンス分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	ファイナンス分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	FAPプロジェクトⅠ	M-DSC306	300	演習	4		ファイナンス分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	ファイナンス分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	ファイナンス・アナリティクス(FAP)実践Ⅱ	M-DSC307	300	講義 演習	4		ファイナンス分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	ファイナンス分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
				講義 演習 実習 PBL など			授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
							授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に蓄けている。	経営管理に必要なとされるICTを含む多様な専門知識を身に蓄けている。	主に経営管理に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、ビジネス上の問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができることと、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	経営を起点として、社会に対する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
データサイエンス分野（実践連携科目）	FAPプロジェクトⅡ	M-DSC308	300	演習	4		ファイナンス分野でビッグデータを処理する必要のある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	ファイナンス分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	サプライチェーン・アナリティクス(SAP)実践Ⅰ	M-DSC309	300	講義 演習	4		サプライチェーン・マネジメント分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	サプライチェーン・マネジメント分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	SAPプロジェクトⅠ	M-DSC310	300	演習	4		サプライチェーン・マネジメント分野でビッグデータを処理する必要のある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	サプライチェーン・マネジメント分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	サプライチェーン・アナリティクス(SAP)実践Ⅱ	M-DSC311	300	講義 演習	4		サプライチェーン・マネジメント分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	サプライチェーン・マネジメント分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	SAPプロジェクトⅡ	M-DSC312	300	演習	4		サプライチェーン・マネジメント分野でビッグデータを処理する必要のある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	サプライチェーン・マネジメント分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	起業・社会・アナリティクス(ESAP)実践Ⅰ	M-DSC313	300	講義 演習	4		起業・社会インフラ分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	起業・社会インフラ分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	ESAPプロジェクトⅠ	M-DSC314	300	演習	4		起業・社会インフラ分野でビッグデータを処理する必要のある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	起業・社会インフラ分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	起業・社会・アナリティクス(ESAP)実践Ⅱ	M-DSC315	300	講義 演習	4		起業・社会インフラ分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	起業・社会インフラ分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	ESAPプロジェクトⅡ	M-DSC316	300	演習	4		起業・社会インフラ分野でビッグデータを処理する必要のある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	起業・社会インフラ分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようになること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	基礎数学	M-SCI104	100	講義	2	○	データサイエンス手法の理解に必要な数学的能力の獲得を目的に、高校数学の範囲を理解し、演算できるようになることを狙いとする。	・数列、極限の概念を理解し演算ができる。 ・微積分の演算ができる。 ・ベクトル、行列の演算ができる。	◎			○	○	
	確率・統計	M-SCI105	100	講義	4	○	データサイエンス手法の理解に必要な数学的能力の獲得を目的に、確率と統計を理解し、演算できるようになることを狙いとする。	・標本空間、確率、確率変数、確率密度関数、分布関数の概念の説明や演算ができる。 ・統計的推定、統計的仮説検定の概念の説明や演算ができる。	◎			○	○	
	数学入門	M-SCI103	100	講義	4		集合と論理、いろいろな関数などについて学修し、それらがどのように利用されているのかを知る。	体系的な知識を身に付け、意識しながら、その知識を利用できるようになる。	◎	◎		○	○	
	異文化ワークショップ	G-OHM129	100	講義	4	○	文化・異文化を扱う協働学習を通じてグローバル人材に必要とされる異文化間能力の向上を目指す。	自らの考え方や感じ方を客観的に捉えながら文化を批判的に考察することで異文化に対する感受性を高める。	◎			◎	○	○
	社会史A	M-OHM101	100	講義	4		日本近世における都市の成立事情や基本構造、歴史的展開過程を紹介した上で、都市民衆世界の実態について学ぶ。	現代社会が抱える諸問題を発見しその解決を図るための基礎的な能力を養う。	◎	◎		○	○	
	社会史B	M-OHM102	100	講義	4		近世のヨーロッパ社会および東ヨーロッパを対象に総体としてのヨーロッパ世界を構成する諸要素を理解する。	政治・経済と社会の関係を理解し、政治・経済等の表層的なでき事を掘り下げ、長い歴史によって培われてきたヨーロッパの深層を成す心性を理解できる。	◎	◎		○	○	
	金融リテラシー	M-EON236	200	講義	2		標準的貯蓄・投資手段のリスク・リワード構造理解を通じて、金融市場におけるリスク対リターン（座標軸）を身につけ、ビジネス社会で活躍するための金融リテラシー向上を目指す。	①標準的貯蓄・投資手段の現状及び過去パフォーマンスを観察することを通じて、リスク・リワードの座標軸を体得する。 ②投資の標準的スタイルを観察し、簡単な数値計算を行うことで、複利効果や分散効果等の意味・効果を理解できるようになる。 ③各種金融リスクの基本構造を、市場データや、簡単な計算事例等を通じて理解・確認できるようにする。 ④バブルや投資詐欺など、過去の極限的事象を学び、異常性を感知できるようにする。	◎	○	○	◎		

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
				講義 演習 実習 PBL など			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
							授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。	経営管理に必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に付けている。	主に経営管理に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、ビジネス上の問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができることともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	経営を起点として、社会に対する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
専門 関連 科目	金融/財務の実務的基礎	M-ECON238	200	講義	2		株主、経営者、債券投資家、各種金融機関の目的・行動原理に応じた金融・財務思考法の差異を理解していくことで、ビジネス・パーソンとしての金融/財務基礎力涵養を目指す。	①企業評価モデルを概観し、長期視野にわたった財務分析について理解する。長期予測の眼界と、市場参加者の対応についても理解できるようにする。 ②株主、経営者、債権者それぞれの目的、思考法、財務行動原理を理解できるようにする。 ③多様な債権・債務関係に対応した金融行動・信用分析を確認し、目的に応じた着眼点・予測期間の設定、ソリューションの選択肢を検討できるようにする。	◎	○	○		◎	
	環境問題とビジネス	M-MNG302	300	講義	2		環境問題が、企業活動にどのような影響を与えているのか、排出権ビジネスの浮き沈み・再生可能エネルギー・パブル・エコカー競争などのケースを通じて学修する。	企業の環境・エネルギー関連ビジネスについて、事業戦略・マーケティングを考える際の基本的な知識を習得する。	○			◎	◎	○
	交通論	M-ECON313	300	講義	4	○	交通が生み出す「社会的費用・公害」の特質を学び、適切な分析手法とその抑制政策について学ぶ。	基礎的な経済学の理論から派生させ、交通システムに関し合理的な説明が可能になる。	◎	○	◎		○	
	立地論	M-ECON337	300	講義	4		農業・鉱業、製造業、サービス業が、経済活動の場である立地をどう選択するか、経済地理学も応用し学修する。地理的な空間に加え、活動の「場」、空間・位置関係等も分析対象とする。	農業立地、工業立地、商業立地等の産業別立地に関する学修成果を報告できる。産業集積、空間経済、都市システムなどのテーマについて主体的学修・ディスカッションを通じて意見を言える。	◎	○	◎		○	
	ビジネス・ソリューション	M-MNG204	200	講義 (実習付)	4	○	実際の企業が抱えている経営課題に基づいて、様々な課題解決支援のツールを学び活用することを通して、課題解決能力を高める	職業観を醸成すること、社会的ニーズの高い課題解決能力、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を高めること、学問横断的な知識の活用法を習得する。			◎	◎	○	○
	ビジネス英語	M-ENG203	200	講義	4		ビジネスで使う英語の特徴は何か、一般の英会話・英文読読・英語ライティングとの相違等を学習する。ビジネスの相手に、丁寧な表現・専門知識に基づく英語・複雑な内容を適切に伝えられる英語を学習する。	ビジネスには品格のある英語で相手の信頼を得る必要があるの、そうした英語力の修得を目指す。ビジネスコミュニケーションに必要な適切な表現・専門性・正確さ・分かりやすさ等を備えた英語の基礎を修得する	◎			◎	○	○
	ビジネス中国語	M-CHN201	200	講義	4	○	中国の文化や商習慣等を勉強しながら、ビジネスにおいて必要とする実践的な中国語を学習する。	「契約・発注」などのビジネス文章から、おれや年賀状など日常生活に欠かせない文章まで、様々な場面での表現をマスターできる。	◎	○		◎		○
	ビジネススペイン語	M-SPN201	200	講義	4		様々な分野のビジネスにおいて、どの場合にも共通するコミュニケーションの表現方法を学ぶ。	各場面に応じたビジネス表現を習得しスペイン語で円滑なコミュニケーションが取れる。	◎	○		◎		○
	スポーツ英語	M-ENG202	200	講義	2		スポーツと言う世界共通のエンターテイメントプログラムを教材にして親しみやすく分かり易い英語学習をする。	スポーツ関連の基本的な英文の読解、聴き取り・発話などの能力を身ににつけて、海外で活躍する選手が身に付けておくべき英語力を涵養する。	◎			◎	○	○
	専門外国書研究(英語)	M-MNG314	300	講義	2		専門外国書(英語)の研究を行う。	専門外国書に基づいた研究を行うことができる。		◎	◎		○	○
	商学部特殊講義A	M-CME305	300	講義	2		商学に関連するテーマを学ぶ。	商学に関する理解を深める。		◎	◎		○	○
	商学部特殊講義B	M-CME306	300	講義	4		商学に関連するテーマを学ぶ。	商学に関する理解を深める。		◎	◎		○	○